ＳＥＯＳ便り

発行責任者
古谷　正実
編集責任者
石川　勝敏
他編集員
２名

平成二十四年度 新入社員 入社式

平成二十四年三月二十二日、新入社員男性四名、女性一名、計五名が㈱全日本ガードシステムに入社し、本社にて入社式を行いました。部署は全員常駐保安部に配属になりました。

入社式では初日ということもあり、全員緊張した面持ちでしたが、古谷常務の訓示後、社員代表の答辞があり、全員が元気な挨拶をして社会人のスタートを切りました。

また四月二日には東天紅にて小泉グループの合同入社式も行われました。グループ各社の役員も参列の中、小泉社長のお話を拝聴し、社会人としての心構えを学びました。

四月三日まで新任教育を行い、現在は各々の現場に配属され、仕事に励んでいます。

平成２４年４月２日（月）
【小泉グループ合同入社式】

新入社員代表として
答辞を読む
佐々木　直人　警備士

平成２４年３月２２日（木）
【新入社員　入社式】

古谷常務　訓示

入社おめでとうございます。本日、若くてハツラツとした皆様を、ここに迎える事ができましたことを大変嬉しく思います。

皆様は小泉グループの㈱全日本ガードシステムという警備会社に入社されました。「安全・安心をお客様に提供し、社会に貢献する」会社です。そういう意味で自分の仕事に誇りを持って頂きたいと思います。

〈中略〉

このビルサービスは昭和四十六年に創業し、本年度で四十一歳を迎えます。この間、諸先輩方々が色々な困難に打ち勝ち、今日の地位を築き上げられました。今後この会社を大きく飛躍させるか否かは、皆様を含めた全社員の双肩にかかっております。我々と一緒になって頑張って参りましょう。

さて、皆様も社会人になりますと「自己責任」が大きく生じてきます。さらに二十歳になると、法律上も正式な「成人」になります。私はこの二年間が大変大切な期間であると考えております。この間で、社会の仕組み、人間関係などを先輩や同僚などと話をしたり、新聞や本を読んで積極的に勉強をして下さい。そして何事も自分で考え自分で結論を出してみる訓練をして下さい。

今の時期は桜のつぼみも大きくなり、自らの力で開花させようと頑張っています。皆様も自分に力をつけて、自分の努力で大きな花を咲かせて下さい。そして十年後、皆様は立派にこの会社の中核となっている事を祈念し、挨拶とさせて頂きます。

新入社員紹介

新入社員の皆さんに今後の抱負を述べて頂きました

佐々木　直人（ささき　なおと）

私の抱負はお客様に安心と安全を提供したいことです。そのためには少しでも早く上司の方々や先輩の方々と仕事に馴染んでいきたいと思います。そしてお客様に笑顔で挨拶するという心掛け、愛情を持って人と接する心掛けを持って仕事に打ち込んでいきます。

警備業はとても大変ですが自分の目標を目指して社会で頑張っていきたいです。

和島　洋昭（わじま　ひろあき）

これからは組織の一員となる以上、報告・連絡・相談を怠らず、向上心を持ち、仕事に取り組みたいです。最初は何も出来ず、戸惑うことも多いと思いますが、先輩方から色々と学び、少しでも早く認められるように努力していきたいと思います。

何事にも一生懸命頑張りますので、よろしくお願い致します。

堀内　一茂（ほりうち　かずしげ）

私の抱負は八徳を身に付けることです。ハキハキと挨拶をし、身だしなみも気を付けたいと思います。学生の時とは生活が変わったので時間厳守も心掛けます。また一つでも多くの資格を取れるよう、勉強も頑張りたいです。

まだたくさんわからないことがありますが、一日でも早く戦力になれるよう頑張ります。

兼平　果奈（かねひら　かな）

新任教育期間は、ひたすら話を聴いてメモを取るの繰り返しだったので、長時間じっとしているのが苦手な私には辛かったです。ですが講義の途中に楽しい話をして下さり、体の力が抜け無事に教育を終えることが出来ました。

この教育で学んだことを第一歩として、自分らしく前向きに働きたいです。

コントロールセンター

今号ではＡＧＳの中枢機能であるコントロールセンターの工藤センター長にお話を伺いました。

センターでの普段の業務は、対象施設に設置しているセンサーが異常を感知し、その発報信号をセンターで受信し監視しています。業務で苦労していることは、お客様とのコミュニケーションだそうです。電話でのやり取りなので、お客様の顔や状況等が見えないこともあり、業務経験豊富でも難しいものがあるようです。また震災の時も対応に追われていたように、どんな状況でもいろいろな事に対応をしなければならないので、常に緊張感を持って業務にあたっているとのことです。そして毎日の業務で事件・事故が発生した場合は「すばやく適切な判断」を心掛けており、またこの仕事にやりがいを感じているとの事でした。

最後に「これからも今まで以上にお客様に安全・安心を提供していけるよう努めていきたい」と工藤センター長に語って頂きました。

安全衛生委員会より

東日本大震災から一年が経ち、昨年の反省点も踏まえて今後の改善・対策について話し合いました。また四月十日に本社で行われた防災訓練では、対策本部の設置から安否確認の方法等を想定して行いました。その結果、備蓄品の確認、役割分担等について改めて改善する必要が考えられました。

また春の交通安全運動に伴って、車両の安全運転についても話し合いました。昨年三月から今年の三月までの一年間で、ＡＧＳ・ＧＭＣ合わせて約二十件もの交通事故が発生しています。事故を防ぐためには常に安全確認を徹底することが必要です。万が一事故が発生したら、以下の表の手順で落ち着いて対応しましょう。

震災対策も安全運転についても、自分の身は自分で守ることを念頭に置き、皆さんもう一度考えてみましょう。

《事故が発生したら》

けが人の救護 ← 事故車両を安全な場所に移動 ← 警察へ連絡 ← 事故状況の把握 ← 相手の氏名・住所・連絡先の確認